

2013年3月14日・山陰中央新報では

米子のライター中村さん

5冊目詩集を出版

ブログから101編を厳選

米子市在住のライター中村真生子さん（54）が詩集「なんでもない午後に一山陰・日野川のほとりにて」（四六判、240頁、1400円＝税外）を自費出版した。ブログに日々、載せた詩から101編を厳選。季節、風景、人、食、生活などを取り上げ、わかりやすい言葉で表現し、中村さんは「同じような体験を見つけ、共感してほしい」と呼び掛けている。

詩集の出版は今回で5冊目。初版は2月11日で1千冊を刷った。中村さんは2010年からブログを始め、一日一編のペースで詩を作り続けている。

今回の詩集に盛り込まれた「今日が生まれた」という作品では「光の揺らめき 朝露の煌めき 生まれたばかりの朝はどこか無防備で きれいなものを見せてくれる」と書き出し、自宅近くの日野川を散歩した際、「火の玉のようにぬーと上がる日の出を見て『一日が生まれる』と感じた」と表現した。

中村さんは大山町生まれ。東京の大学を卒業後、コピーライター、雑誌ライターをし、1997年に米子市に移り住んだ。最初の詩集は99年に出版した。

詩集「なんでもない午後に一」は出版元のコールサック社、インターネット通販サイトなどで購入できる。

と紹介されています。